

ジェネリック医薬品は新薬と同じ 効きめ・安全性で安価な薬です



新薬と有効成分や効能が同じなのに、新薬よりも価格が安いジェネリック医薬品。いつものお薬をジェネリック医薬品にすれば、みなさんが負担するお薬代も節約できます。

ジェネリック医薬品が安い理由は、新薬より開発コストがかからないからです

新薬は、発売されるまでの研究開発に多くの時間や費用がかかるので、新薬を開発した製薬会社には、特許の出願により、約20～25年の特許期間が与えられます。一方、ジェネリック医薬品は、新薬の特許期間満了後に新薬と同じ有効成分で製造・販売されるお薬です。新薬より開発費用が少なくてすむため、価格を抑えられます。

●開発にかかる期間と費用

	開発期間	開発費用
新薬	9～17年	数百億円以上
ジェネリック医薬品	3～5年	約1億円

効きめや安全性が新薬と同等であることは、国の審査で確認済みです

ジェネリック医薬品は新薬と同一の有効成分を同一量含んで作られています。国の厳しい審査で、有効性・安全性・品質が新薬と同等であることが確認されたものだけが、ジェネリック医薬品として販売されています。お薬の形や色、味、添加剤などは変えてもよいことになっているため、見ためや添加剤が異なることがありますが、有効性や安全性に違いはありません。

近年は「オーソライズド・ジェネリック (AG)」と呼ばれる、有効成分だけでなく、添加物、製造方法まで新薬と同一のジェネリック医薬品が登場しています。

Column

オーソライズド・ジェネリック (AG)

AGは新薬メーカーから許諾を得て製造・販売される、新薬とほぼ同一のジェネリック医薬品をいいます。一般的なジェネリック医薬品と同様に開発コストが少なくてすむため、お薬代が安くなります。

すでに、アレルギー薬のアレグラや血圧降下剤などではAGが発売されています。

ジェネリック医薬品を使ってみようと思ったら…

① かかりつけの医師・薬剤師に相談してみましょう

国がジェネリック医薬品の利用を促進していることもあり、ジェネリック医薬品の活用に積極的に取り組む医療機関が増えています。

② 処方せんをチェックしましょう

処方せんの「変更不可」の欄に「✓」や「×」がないか確認し、何も記入されていない場合は、ジェネリック医薬品に変更できます。

注意 すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。また、医師の治療上の方針で、ジェネリック医薬品に変えられない場合もあります。